

教育学

担当教員 山本 孝司

配当年次 1年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

教育は、誰もが直接かかわる営みである。誰もがかかわる営みだから、みんなそれぞれ教育について何かしら語る事ができる。いわば、教育は誰もが知っている常識である。本講では、参加者各自が既にもっている「常識」は大切にしつつも、それを超えて「教育」を「科学(学問)」的にとらえる、いってみれば「『教育』を根本から考える」作業を行う。そのなかで、参加者各自が自分なりの「教育観」をもち、今日の教育課題について主体的に考える態度を養う。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス
2	教育とは何か
3	心身の発達
4	学校の歴史
5	子どもの歴史 ①古代・中世
6	子どもの歴史 ②教育対象としての子ども
7	子どもの歴史 ③ルソーによる「子どもの発見」
8	近代教育の思想と実践 ①ペスタロッチ
9	近代教育の思想と実践 ②ヘルバルト、フレーベル
10	近代教育の思想と実践 ③新教育運動
11	アメリカにおける進歩主義教育 ①前史：超越主義の教育思想（エマソン、ソロー）
12	アメリカにおける進歩主義教育 ②前史：超越主義の教育思想（ブロンソン・オルコット）
13	アメリカにおける進歩主義教育 ③超越主義から進歩主義へ
14	アメリカにおける進歩主義教育 ④デューイの教育哲学
15	現代の学校教育をめぐる論点

【履修上の注意事項】

授業には参加的態度で臨むこと。
 その他、授業外でも教育にかかわる情報をキャッチする鋭敏なアンテナを持ち合わせて欲しい。
 事前に資料を読み、事後は復習しておくこと。

【評価方法】

原則として学期末試験（60%）、小レポート（40%）を評価の対象とする。

【テキスト】

山本孝司『超越主義と教育—ブロンソン・オルコット思想研究序説』（現代図書、2011年）

【参考文献】

授業内において適宜紹介する。